

「青森市総合計画 基本構想（素案）」に係る
地域説明会・浪岡自治区地域協議会・学生説明会の結果について

1 実施結果

[地域説明会]

10/11（木）中部地域（中央市民センター）	参加者：20名	
10/12（金）南部地域（大野市民センター）	参加者：28名	
10/14（日）東部地域（東部市民センター）	参加者：22名	
10/14（日）浪岡地域（浪岡中央公民館）	参加者：7名	
10/15（月）西部地域（西部市民センター）	参加者：31名	
10/16（火）北部地域（北部市民センター）	参加者：19名	参加者計：127名

[浪岡自治区地域協議会]

10/24（水）浪岡庁舎 2 階会議室 参加者：14名

[学生説明会]

10/17（水）青森中央学院大学 参加者：22名

[内訳] 青森公立大学：4名、青森県立保健大学：2名、青森中央学院大学：5名
青森中央短期大学：5名、青森大学：4名、青森明の星短期大学：2名

[手法] 総合計画及び基本構想（素案）の概要を説明した後、6つの学生グループによるワークショップ形式で、6つの柱（〇〇創り、△△街）のために実施すべき具体的な取組について議論・発表を行った。

2 提出された意見

意見の内訳	反映	記述・整理済	実施段階検討	反映困難	その他	計
第1章 基本構想策定の趣旨・背景	1	3	0	0	0	4
第2章 まちづくりの目標	0	1	0	0	1	2
第3章 施策の大綱	4	4	28	0	1	37
第4章 推進体制	0	3	0	0	1	4
その他	0	9	3	0	40	52
計	5	20	31	0	43	99

「反映」 ……記述の追加意見の全部又は一部を反映させるもの

「記述・整理済」 ……計画に記述しているもの、市の考え方が整理されているもの

「実施段階検討」 ……計画の実施段階（前期基本計画の策定時を含む）で検討するもの

「反映困難」 ……反映が困難なもの

「その他」 ……上記以外のもの

※「その他」のうち、基本構想・基本計画に関連するものは14件、それ以外は29件

10月11日（木）中央市民センター（参加人数：20名）

No.	内容	反映	記述・ 整理済	実施段 階検討	反映 困難	その他	対象外	考え方
1	基本計画の策定時には、過去の計画の実績・達成率などの視点も入れて考えて欲しい。		○					計画策定時にフォローアップを実施済
2	前期基本計画、後期基本計画の策定に当たっては、総花的ではなく何が大事なのか優先度を考え明確にして欲しい。					○		
3	「直面する諸課題」の（5）多発する自然災害、空家等の増加 について結びが「～限りません。」となっているので課題になっていないように感じる。もっと、市内の危険な場所を具体的に（個別箇所を）書いて欲しい。		○					基本構想はまちづくりの大きな方向性等を記載するもの。作成済のハザードマップ等で補完
4	県は環境基本方針を作るなど環境について職員が行う目標と体制を公表している。青森市も省エネ等に職員が意識を持って行動するといった内容を構想に盛り込んで欲しい。	○						推策の大綱6かがやく街「（1）豊かな自然環境の保全」の中に、職員の省エネ行動について記載
5	災害については、青森県も計画を作っているが、青森市もこれに基づいてより強固な災害の計画を策定するようお願いしたい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
6	市民の意見を聞くと書いてあるが、審議会が考えたものであるなら説明会を開催する必要はないのではないか。						○	
7	説明会は、意見を言った参加者としては、出席者名を書かせた方がいいと思う。						○	
8	市民意識調査の結果はどうなったのか、どこかで見れるのか。						○	
9	計画は魅力ある県都青森市が感じられない。県内どこの自治体も同じような感じで総花的。問題点だけ解決しようとしていて後ろ向きな構想と感じた。		○					総合計画のスタイルを「課題解決型」と整理済
10	30年後は18万4千人とのことだが、10年後は人口は何万人で何世帯の推計か。						○	
11	県都青森市として、県と青森市の位置付け、すり合わせのあり方をどう考えているか。						○	
12	青森市としての弘前市・八戸市とのあり方について、どのように考えているのか。						○	
13	より良い基本構想を策定するためには国との人事交流などで様々な情報を収集することが重要と考える。						○	
14	町会連合会に町会の運営の仕方などに関するデータの蓄積がない。						○	
15	行政は町会長の業務がいかに大変か把握していない。高齢化社会において町会長の業務のやり方やモデルプランを行政に作ってもらわなければ町会長の若返りは図れないことから、町会連合会の体制やあり方について考えて欲しい。						○	
16	説明会は市民全般に案内した方がよい。						○	
17	具体的に何をやってくれるのかが知りたい。青森駅自由通路建設決定などハッキリしたものが知りたい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
18	佃東町会も高齢者ばかりになってきている中で、市役所から側溝の泥上げしてくださいといわれても無理な話。そこで、何年度までに泥上げしなくてもいい側溝を入れるとか、雪についても、現状の雪対策ではなく、今後は徹底的に雪対策をしてはどうか。市内の幹線道路くらいは5年後くらいには解決してなきやだめだと思う。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
19	雪対策は、弘前大学と提携して、科学的に進んだ方法を考えるべき。これからロボット技術も進み10年経たないうちにそうなると思うので、もう少し夢のある話をしたい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
20	「一人ひとりに挑戦」といっても、高齢者には難しい。					○		
21	基本構想を実現しようとすると、予算には限りがあるので、足りないとかの問題が生じるはずだ。		○					推進体制「（3）持続可能な財政運営」で整理済
22	「市民一人ひとりが挑戦する街」が今回のポイントと考えるが、それぞれの項目に挑戦する街との関連性が見えない書き方になっているので、挑戦する街を反映した表現にするべきである。	○						施策の大綱それぞれにおいて、挑戦するポイント等を記載
23	挑戦＝「町会に仕事の負担が増える」と考えてしまう。					○		
24	明るさを持った構想の書き方をしたい。					○		
25	特区はやらないのか、構想が計画に特区について記載できないのか。			○				具体的な特区の動きがあれば、前期基本計画の中で検討

10月12日（金）大野市民センター（参加人数：28名）

No.	内容	反映	記述・整理済	実施段階検討	反映困難	その他	対象外	考え方
26	H24年の構想と今回の構想は、どのような違いがあるのか。					○		
27	総合計画審議委員の人選について、どのような範囲で集めたのか、地域の声が反映される人を選んだのか、また地域の声が反映されているのか。						○	
28	今回の説明会での意見は反映されるのか。						○	
29	交通アクセスについてもっとはつきり書いてほしい。接続可能な都市づくりでは物足りない。交通は青森、弘前、八戸で本市が一番劣っている。特に南部地域は東西の接続が悪い。国道バイパスはあるが、真ん中には何もつながりが無い。交通アクセスは非常に大事である。セントラルパーク整備も絡んでくる。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
30	コンパクト・プラス・ネットワークについて、もう少し詳しく教えて欲しい。						○	
31	10年後の具体的な目標値、係数を伴った基本計画を策定をすべきと考える。		○					基本計画には、指標と目標値を設定する予定
32	人口減少問題について、個人的には若い世代の収入が少ないから県外に流出しているのではないかと考える。ある程度収入があれば地元に残ると思うので、農業で稼ぐにはどのくらいの田んぼを作らなければならないのかなど具体的な方策を基本構想または基本計画に記載していただきたい。		○					基本構想はまちづくりの大きな方向性等を記載するもの。「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で補完

10月14日（日）東部市民センター（参加人数：22名）

No.	内容	反映	記述・整理済	実施段階検討	反映困難	その他	対象外	考え方
33	ユニバーサル社会とはどのような社会か。詳しく教えてほしい。						○	
34	コンパクト・プラス・ネットワークは前々市長のコンパクトシティ構想の結論というか反省は踏まえているか。					○		
35	県道の建て替え問題とそれに伴うアクセス道路の渋滞について県と連携を図ってほしい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
36	ヤード跡地の活用を公園としてだけでなく大きく開発して欲しい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
37	雇用対策について、具体的にどのようなことをするのか教えて欲しい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
38	行財政改革について、住民ニーズに対応した行政サービスとあるが、足が悪くて説明会に参加したくても東部市民センターまでこれない人も多いことから、造道福祉館で実施するなどもっと多くの会場で実施して欲しい。						○	
39	人口減少対策として、若い夫婦に対して、第3子、4子の手当てを厚くするなど考えているか。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
40	目標年次10年となっているが、コンパクトシティの例もそうだが、途中で見直しをかければよかったのに、見直さなかったのが今に至るんだと思う。人口減少の速度が速いので、5年で見直しをきっちりやってほしい。	○						基本構想に基本計画の見直しについて記載
41	11ページ（4）暮らしを支える福祉の充実について、地域福祉の担い手の育成・確保を進めるとあるが、具体的な方策はあるのか。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
42	基本計画についての説明会は実施するのか。						○	

10月14日（日）浪岡中央公民館（参加人数：7名）

No.	内容	反映	記述・整理済	実施段階検討	反映困難	その他	対象外	考え方
-	質疑・意見なし	-	-	-	-	-	-	

10月15日（月）西部市民センター（参加人数：31名）

No.	内容	反映	記述・ 整理済	実施段 階検討	反映 困難	その他	対象外	考え方
43	むなししい。いろんな計画が何度もできているが、行政として色々な計画を作ってきて発表してきているが、その計画はどうなったのか。それがどこまで進んでいて、その上にただ計画を乗っけてきている。きれいな絵を書いて、今回は大丈夫ですと言うけど、過去が活かされていない。職員全体、議会のチェック機能に問題がある。コンパクトシティ、中心市街地活性化、新駅はどうなったのか。前はこうだったので、今度はこうですといった過去の総括が無いのに何で今回はうまくいくといえるのか。今までの無かったことのように包括的な提案として、今度はこれですという提示をする。新しくも無い、ひと創りもずーっと昔から言われている話であり、子どもの話も安心なまちづくりも。こんなことをするより家の前の雪捨て排雪するのが行政の仕事だと思う。そういうのをやってきたけど、今回こうなんですという計画じゃないと明日は無い。最上位の計画ならどうなったか、何がダメだったか総括が無い。同じことを市議が掲げる。選挙に行きたくなくなるような資料を作るのが行政のやるべきこと。					○		
44	全部のセクションに、こういった説明会を開くときは、事前に資料を配布するようにして欲しい。質問も中身があるものになると思う。						○	
45	記載している地域資源のほかに鶴ヶ坂温泉、獅子踊りなどもある。		○					基本構想には、主なもののみ記載。その他も適切に活用していく
46	し尿処理場が新城川の上流にあり、水質が悪くなっているため移転して欲しい。						○	
47	西地区の地盤改良を進めるなど災害対策をしっかりと進めて欲しい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
48	今回の構想は、すべて人口減少対策に行き着くのか。		○					「本市の直面する諸課題」で整理済
49	5年後10年後にここまで数値を持っていきたいなどの目標設定があればいいと思う。		○					基本計画には、指標と目標値を設定する予定
50	コンパクト・プラス・ネットワークで、西部地区はどのあたりで、何箇所くらいの場所が対象となっているのか。						○	
51	基本構想の中に推進体制として、行革や財政の記載があるが違和感がある。					○		
52	政策提起に連携やパートナーシップといった視点が必要だと思う。行政プラス民間、民間をどのように使っていくのかということを経験の中に入れていかなくてはと思う。	○						まちづくりの基本視点「連携の推進・安心な地域社会づくり」に民間企業との連携についても記載
53	現在、新城駅から、環状線までの道路拡張工事が入っており、農業用水に蓋をして道路拡張となっている。新しい側溝が入っているが、雨のときに溢れ、低い方の家の方に水が溜まっている。今後、あの用水路で安全は確保できるのか。もっと大きい流雪溝などの深いものを入れたいと聞きたいと考えるが、そのあたりの検証をした上での工事なのか説明して欲しい。						○	
54	具体的な取組みなどを聞きたくて説明会に参加したが、抽象的なものばかりで大綱は抽象的なものを書くことになっているのか。		○					具体的な取組は基本計画に記載することで整理済
55	コンパクト・プラス・ネットワークなどあとの説明があったらと理解できた。説明がわかりにくかった。						○	

10月16日（火）北部地区農村環境改善センター（参加人数：19名）

No.	内容	反映	記述・ 整理済	実施段 階検討	反映 困難	その他	対象外	考え方
56	前回の計画からどこを改善したのかなど、変わったところを説明して欲しい。					○		
57	人口減少を食い止める計画はあるのか。		○					人口減少を重要な課題とし、それに対応した計画としている
58	1次、2次産業の比率が低いままでよいのか。担い手は辞めていく人が多く、若手がいない、都市に近ければ移住者という方法もあることから、青森市も都市からの移住で従事させるような形をとっていただければいい。また6次産業の支援をして、市全体の所得向上を図ることが重要と思っている。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
59	コンパクト・プラス・ネットワークは拠点に居住地を集めるのか。また、北部はどうなるのか。						○	
60	町会等は、いろいろ助成を受けているので、10年で財政はどうなるのか心配している。		○					推進体制「(3) 持続可能な財政運営」において整理済
61	議員定数は10年間このままでいいのか。定数削減を総合計画に書けるのか。					○		
62	浪岡との行政サービスの標準化を図る必要があり、現状と今後の方針等を示して欲しい。						○	
63	推進体制について、人口減少に職員が相当の危機意識を持って作業を進めるべきと考える。		○					推進体制には記載していないが、「本市の直面する諸課題」の記載のとおり人口減少は重要な課題であると認識している
64	基本構想の中で使用している「都市」の定義は（市内の）どこまでを指すのか。					○		
65	構想実現に向け、北部地域はどのような形で参加、何をすればいいのかなど示されるのか。					○		
66	総合計画を作らなければならなくなったのはいつからなのか。						○	

10月24日（水）浪岡自治区地域協議会（参加人数：14名）

No.	内容	反映	記述・ 整理済	実施段 階検討	反映 困難	その他	対象外	考え方
67	「市民一人ひとりが挑戦する街」としているが、挑戦できる環境を先に作っていただきたい。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
68	「しごと創り」「ひと創り」などは創造の「創」を使っているが、創造するだけでやらないのか？					○		
69	絵に描いた餅だと感じます。						○	
70	シニアの活躍、生活の充実を図れるような環境を作っていただきたい。		○					施策の大綱4やさしい街「(2) 高齢者福祉の充実」において記載済
71	基本構想は10年、基本計画は10年であれば20年後の策定となるのか？					○		
72	関連表において、各基本視点に関連している施策がもっとあると思うがどうか？		○					基本視点から見た関連性で整理済
73	現在、本市で少子化対策はどのような取組を行っているのか？						○	
74	子どもたちをたくましく育てていただきたい。		○					施策の大綱1ひと創り「(2) 教育の充実」において記載済
75	今の子どもたちは、中での遊びが増えているので外での遊びが増えてほしいと思う。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
76	観光が伸びてきているので、積極的に取り組んで欲しい。		○					施策の大綱1しごと創り「(2) 観光の振興・誘客の推進」において記載済
77	林道の調査はしているのか？						○	

10月17日（水）学生説明会（参加人数：22名）

No.	意見・提案	反映	記述・整理済	実施段階検討	反映困難	その他	対象外	考え方
78	学生の就職先となるような首都圏に本社がある大企業に対し、青森市に支店を持つよう働きかけ、首都圏に就職した人がいずれ青森に戻ってこれるようにする。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
79	趣味と仕事を両立できる環境づくりを推進する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
80	浪岡地区で、北島祭りと一緒に「カシス」を活用した祭りを開催する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
81	八戸は水産業、弘前はリンゴと浮かぶが、青森は全て中途半端な印象なので、青森と言えば、というものをつくる。		○					施策の大綱4しごと創り「(2) 農林水産業の振興」において地域ブランド化として記載済
82	大学のパンフレットなどに掲載する卒業後の就職企業情報に、どのような企業か分かるような企業紹介を掲載する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
83	学区を越えた学校が連携し、子どもたちの交流・連携を進める。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
84	子どもたちの遊びの場（例：ヒロロスクエア、プレイパークなど）を設置、周知する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
85	食育を意識した給食メニューの導入、食生活の改善。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
86	大学入試の際、市内に就職することを前提とした「地域枠」を設ける。						○	
87	若者世代が地域の健康をサポートする。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
88	町会や地区等で高齢者や成人を対象とした健康に関する知識の普及啓発を図るための環境づくり。学生や子どもが参加することによって、住民の参加率も上がるため、世代間交流の場にもなる。	○						施策の大綱4やさしい街「(1) 保健・医療の充実」の中に市民ぐるみのヘルスリテラシーの向上について記載
89	テレビやラジオなど、マスメディアを活用した健康情報の配信。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
90	大学生など若いうちから地域活動に関わることによって、地域への愛着を醸成する。		○					施策の大綱3まち創り「(1) 地域内連携・広域連携の推進」において記載済
91	基本構想の15ページの関連表の中で、基本視点「人材育成」と施策の大綱「やさしい街」の交差部分に「○」を付して欲しい。		○					基本視点から見た関連性で整理済
92	机上の空論にならないよう実生活をしっかり考えシミュレーションしたビジョンを策定する。						○	
93	地域に根付いたハザードマップを作る。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
94	釣り場・海水浴場の近くにゴミ箱を設置する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
95	釣りの仕掛けを自然にやさしい素材にするよう事業者働きかける。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
96	親子でのゴミ拾い活動による子どものゴミに対する意識醸成。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
97	山でのイベント、自然と触れ合えるイベントを開催、周知する。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
98	登山やハイキングしやすい環境づくり。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討
99	子どもに山で遊ぶことの楽しさを伝える。			○				具体的な取組は前期基本計画の中で検討

5 20 31 0 14 29